

臥牛サロン 新企画

- 複数の曲に共通するテーマを解説し、各曲の謡と仕舞の見どころをたっぷりお楽しみ頂きます。
- サロンの開催は、奇数月（隔月）の下旬となります。
- 時間：18:30- 19:45前後
- 参加費：椅子指定席 3,000円、座布団自由席2,500円
- 次回：2020年1月20日（月）18:30～

出演者



田崎 甫
はじめ

シテ方宝生流職分
1988年 神奈川県生まれ、
叔父の宝生流能楽師 田崎
隆三に師事。2011年東京藝
術大学音楽学部邦楽科卒業、
20代宗家宝生和英の内弟子。
同年「金札」で初シテ。
2018年独立。九段「幸宝
会」主宰。2019年4月東京
藝術大学音楽学部教育研究
助手を拝任。



葛野 りさ
かどの

シテ方宝生流職分
平成元年生、富山県富
山市出身。20代宗家宝
生和英に師事。平成23
年東京藝術大学音楽学
部邦楽科卒業。平成24
年「清経」ツレにて初
舞台を踏み、平成29年
「田村」で初シテ。
2020年より川村学園女
子大学非常勤講師。



【番組】

一 ご挨拶

二 仕舞 六浦クセ（むつら）

シテ 田崎甫

三 仕舞 六浦キリ（むつら）

シテ 田崎甫

四 仕舞 富士太鼓（ふじたいこ）

シテ 葛野りさ

五 仕舞 船弁慶キリ（ふなべんけい）

シテ 田崎甫

二〇一九年十一月十八日（月）

臥牛サロン 第十五回

霜月の能

「秋という背景」

プロデューサー

田崎 甫

（宝生流能楽師）

於 臥牛敷舞台

富士宮市粟倉南町一三二

舞台当主 高橋千洋

（富士宮市中央町在住）

臥牛サロン次回ご予約・お問合せ

☎ 0545-38-9939 (たざき)

☎ 090-2757-0620

一 『六浦クセ』

- 1 月日経て。
移ればかはる眺めかな。桜は散りし庭の面に。
3 に。咲きつづく卯の花の垣根や雪にまがふらん。
5 時移り夏暮れ秋も半になりぬれば。
7 空さだめなま村時雨。
露しぐれもる山は。下葉残らぬ色とかや。
9 さるにても。東の奥の山里に。
あからさまなる都人の。
11 あはれも深き言の葉の露の情に引かれつつ姿をま見え数々に。
13 言葉をかはず値遇の縁。
14 深き御法を授けつつ。仏果を得しめ給へや。

二 『六浦キリ』

- 15 八聲の鳥も数々に。八聲の鳥も数々に。鐘も聞ゆる。明け方の空の。
17 所は六浦の浦風山風。

(続き) 『富士太鼓』

- 35 煩惱の雲晴れて五常楽を打ち給へ。
修羅の太鼓はうちやみぬ。此君の御命。
37 千秋楽と打たうよ。
さてまた千代や萬代と。
39 民も栄えて安穩に。
太平楽を打たうよ日も既に傾きぬ。
41 日も既に傾きぬ。
山の端を眺めやりて招き返す舞の手の。
43 嬉しや今こそは思ふ敵は討ちたれ。
うたれて音をや出すらん我にははるる胸の煙。
45 富士が恨みをはらせば涙こそ上なかりけれ。これまでなりや人々よ。
47 暇申してさらばと伶人の姿鳥兜。
皆脱ぎ捨てて我が心。
49 乱れ髪乱れ笠。かかる思ひは忘れじと。
また立ち帰り太鼓こそ憂き人の形見なりけれと。
51 見置きてぞ帰りける跡見置きてぞ帰りける。

(続き) 『六浦キリ』

- 18 吹きしをり吹きしをり散るもみち葉の。
19 月に照りそひてからくれなゐの庭の面。明けなば恥かし。暇申して。
21 帰る山路に行くかと思へば木の間の月の。行くかと思へば木の間の月のかけろふ姿と。なりにけり。

三 『富士太鼓』

- 25 持ちたる撥をば劔と定め。
27 持たる撥をば劔と定め。
29 眞のふじ風は太鼓の烽火の。
31 四方へばつと散るかと思えて。
33 天に上れば雲の上人。
35 花衣さす手も引く手も。
伶人の舞なれば。太鼓の役はもとより聞ゆる名の下むなしからず。
37 類ひなやなつかしや。
39 げにや女人の悪心は。

四 『船弁慶キリ』

- 53 声をしるべに出で舟の。声をしるべに出で舟の。
55 知盛が沈みし其有様に又義経をも海に沈めんと。
57 夕波に浮める長刀取り直し。
59 巴波の紋あたりを拂ひ。
61 うしほを蹴立て悪風を吹きかけ眼もくらみ。心も乱れて。前後を忘る。ばかりなり。
63 其時義経すこしも騒がず打物抜き持ち現の人に。向ふが如く。言葉をかはし戦ひ給へば。
65 弁慶おし隔て打物業にて適ふまじと。
67 数珠さらさらとおしもんで。
69 東方降三世南方軍荼利夜叉。西方大威徳。
71 北方金剛夜叉明王中央大聖不動明王の索にかけ。祈りのられ悪霊次第に遠ざかれば。
73 弁慶舟子に力をあはせ。お船を漕ぎのけ汀に寄すれば猶怨霊はしたひ来るを。
75 追っ払ひ祈りのけ又引く汐にゆられ流れ。又引く汐にゆられ流れて。
77 跡しら波とぞ。なりにける。